

遺産登録10周年イベントのご報告とお知らせ

10周年フォトコンテストのご報告

管理機関

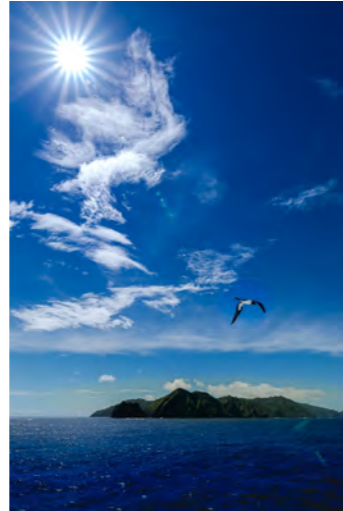
世界自然遺産登録10周年を記念し、「後世まで伝えたい小笠原の魅力」をテーマにフォトコンテストを開催し、期間中に島内外から「小笠原の自然風景」「小笠原の生きもの」「小笠原の日常風景」の3部門あわせて約800点と数多くの作品の応募を頂きました。

応募作品から選ばれた入賞作品約20点の展示と、その中からグランプリ作品を選定するための一般投票を以下の日程で実施いたしました。その結果、850名を超える方々に投票いただきました！

- ◆ (母島) 10月5日(火)～10月18日(月)
場所：沖港 ははじま丸船客待合所内
- ◆ (父島) 10月25日(月)～11月5日(金)
場所：小笠原世界遺産センター
- ◆ (内地) 10月5日(火)～10月24日(日)
場所：新宿御苑インフォメーションセンター

さらに事務局による厳正な審査を行い、フォトコンテストグランプリ及び優秀賞、特別賞作品を選定いたしました。選定作品は、小笠原自然情報センターHPで発表しています。どれも素晴らしい作品ばかりでしたが、その中でも小笠原の魅力あふれる作品を選定させていただきました。応募・投票頂いたみなさま、ありがとうございました！受賞者のみなさまおめでとうございます！！

グランプリ



『いざ！母島へ！』

「小笠原学術研究会」開催のお知らせ

管理機関

世界自然遺産登録から10年目となるこの機会に、これまでの小笠原諸島世界自然遺産地域の現状を科学的見地から評価し、今後の保安全管理に資する研究者同士の意見交換会の場として、令和4年2月23日(水・祝日)に東京都立大学(WEBでの並行開催予定)において「小笠原学術研究会」を開催する予定です。本会の詳細は追ってお知らせいたしますので、続報をお待ちください！



高病原性鳥インフルエンザに感染した野鳥にご注意ください

10月～4月までの間は飛来する渡り鳥が高病原性鳥インフルエンザに感染している可能性があります。通常人には感染しませんが、家禽や希少鳥類への影響が考えられますので、弱っている個体や死亡個体を発見された場合は、むやみに近づいたり、触ったりせずに下記連絡先までご連絡ください。

(お問合せ先：小笠原自然保護官事務所 父島：☎2-7174 母島：☎3-2577)

ミズナギドリ類と感染の疑いがない個体については、引き続き通常の救護体制で対応しますので、うずくまっているところを見つけたら下記連絡先までご連絡ください。

(お問い合わせ先：NPO法人小笠原自然文化研究所(6時～22時) 父島：☎080-2035-8078 母島：☎080-8497-3764、東京都小笠原支庁：☎2-2125)

◆◆お問い合わせ先◆◆

本チラシに関するお問い合わせは、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

環境省小笠原自然保護官事務所(世界遺産センター)

Tel/Fax：04998-2-7174/7175

林野庁小笠原諸島森林生態系保全センター

Tel/Fax：04998-2-3403/2650

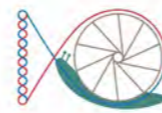
東京都小笠原支庁

Tel/Fax：04998-2-2167/2302

小笠原村環境課

Tel/Fax：04998-2-2270/2271

世界遺産に関する情報は、下記のホームページをご覧ください。
小笠原自然情報センターHP：<http://ogasawara-info.jp/>



小笠原自然情報センターだより

小笠原

世界自然遺産

十周年

小笠原諸島世界自然遺産地域連絡会議 事務局 第31号2021年12月発行

小笠原諸島世界自然遺産登録10周年を記念して小笠原ビジターセンターと小笠原世界遺産センターの合同企画展を開催しています。

声展

「進化と変化を続ける島々から聞こえてくる声展」

小笠原や世界遺産の管理に関わる人たちが「声のヌシ」として登場します。

また、島民に人気のある生き物や外来種の意外な一面も紹介しています。

さらに、すぐろく・フォトコーナーといった体験型の展示もお楽しみいただけます。

両施設にて同じテーマで異なる展示を行っておりますので、ぜひどちらもご覧ください。

【開催期間】

●ビジターセンター

12月27日(月)まで

●遺産センター

12月28日(火)まで

各施設の開館日・時間やルールは施設の提供する情報をご確認ください。

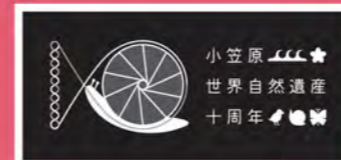
来年1月以降には母島での出張展示を計画中です。

【主催】

小笠原諸島世界自然遺産地域管理機関 現地事務局
(環境省、林野庁、東京都、小笠原村)

【問合せ先】

小笠原村環境課 04998-2-2270



オガサワラハンミョウの移殖について

(環境省)

- ◆ 10月上旬から11月上旬に、合計3回にわたって、世界遺産センター内の保護増殖室で飼育していたオガサワラハンミョウを兄島へ移殖（野生復帰）しました。
- ◆ オガサワラハンミョウは小笠原諸島の固有種の昆虫です。植物の生えていない裸地で卵を産み、幼虫は土に巣穴を掘って暮らしています。以前は父島にも分布していましたが、現在は兄島にしか生息していません。減少理由としては、モクマオウなどの外来樹の落ち葉が堆積することによる生息地の減少や、外来生物グリーンアノールによる捕食の影響等が考えられています。
- ◆ そのため、関係機関と協力し外来植物を除去するなどして兄島の裸地を整備し、遺産センターで飼育した個体の一部を放して、生息数を増やすことを試みています。2015年に始めた移殖も今年で7年目になります。
- ◆ 今回の移殖では過去最多のメス83個体、オス111個体を移殖しました。移殖後のモニタリングではすでに120個以上の巣穴が確認されています。
- ◆ 遺産センターでは引き続きハンミョウの飼育を行うとともに、関係機関・団体・島民の皆さまと連携しながら事業を進めていきます。



移殖を待つ
オガサワラハンミョウ



移殖した裸地



移殖後の
オガサワラハンミョウ

母島における固有陸産貝類保全

(環境省)

- ◆ 昨年度、母島の固有陸産貝類の減少に外来種の貝食性ブラナリアである「エリマキコウガイビル (*Bipalium vagum*)」が影響していることが明らかになりました。
- ◆ 本種は既に母島の北港から万年青浜付近に至るまで山中も含め広く分布を拡大している事が確認されています。一方、その生態などは不明な点も多く、野外で効果的に駆除する手法が確立されていません。
- ◆ 今年6月には、母島衣館のオガサワラオカモノアラガイ隔離集団（遺伝的にユニークで個体数が非常に少ない）の生息地にエリマキコウガイビルが侵入していることが確認されました。
- ◆ 幸い、オガサワラオカモノアラガイは、飼育方法が確立されつつあるため、10月に衣館の個体を捕獲して母島島内での飼育（生息域外保全）を開始しました。更に、個体数を増やすことで外来捕食者がいる環境でも集団が存続しつづけることができないか検証するために、飼育下で得られた卵を現地に移殖する試験を12月に実施しました。
- ◆ また、近年個体数が少なくなっている他の固有陸産貝類（オガサワラベッコウなど）についても、エリマキコウガイビルによる捕食の受けやすさなどを考慮して保全の優先順位をつけつつ、数種類を試験的に捕獲して飼育方法の開発を進めていく予定です。



オガサワラオカモノアラガイを捕食するエリマキコウガイビル



オガサワラオカモノアラガイ飼育個体の様子



衣館の生息地

オガサワラカワラヒワの生息域外保全

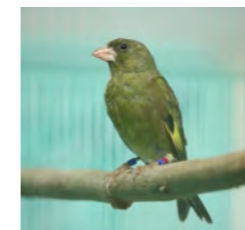
(環境省・東京都)

- ◆ 絶滅が危惧されているオガサワラカワラヒワ（通称：オガヒワ）について、地域住民、専門家、民間団体や関係行政機関などが保全対策に取り組んでおり、9月30日には有識者による「第一回オガサワラカワラヒワ保護増殖事業検討会」が開催されました。
- ◆ 環境省は、向島ドブネズミ対策について、小笠原村と協同し、駆除範囲の拡大、ベイトステーション設置基数の増量など対策を強化する予定です。
- ◆ 東京都は、種の保存法に基づき環境大臣の確認を受けて、生息域内保全の補完として、生息域外保全に取り組んでいます。9月下旬には、母島島民から寄せられた飛来目撃情報などを基に母島本島で捕獲し、飼育繁殖施設のある父島に移送、雄雌2ペア計4羽の飼育を開始しています。繁殖地の対策と連携して生息域外での増殖を実現し、生息域内の個体群の増強に貢献していきます。

目撃情報は環境省母島事務室（3-2577）までお寄せください！



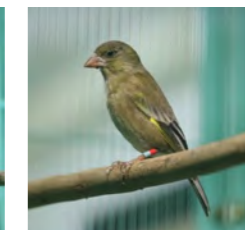
若鳥♀



若鳥♂



成鳥♂



若鳥♀



捕獲状況

オガグワ稚樹を守るBSの設置（弟島）

(林野庁・東京都・小笠原村)

- ◆ 11月16日に弟島北部のオガサワラグワ自生地で、オガグワ稚樹の保護を目的にネズミ駆除用のベイトステーション（BS）設置を東京都小笠原支庁土木課と小笠原村環境課と協働で実施しました。現地はオガグワの天然更新が期待できる唯一の箇所であり、昨年、今年と近年まれに見るほど多くの稚樹の発生が確認されており、今回のBS設置でネズミによる被害がなくなり、稚樹が大きく成長することを願っています。



オガグワの稚樹
(幹の茶色の部分がネズミの食痕)



BSの設置作業

地域向けイベントのご報告

西之島講演会

環境省

11月13日に開催したオンライン講演会「西之島の今」では鳥類や植物の専門家による、最新の写真や映像をまじえた講演を父島からWEB中継し、約100名の方にご参加いただきました。



小笠原高校 兄島環境学習

管理機関

11月27日に小笠原高校の1年生を連れて、兄島で環境学習を実施しました。生徒達はマイマイや固有植物を実際に観察し、地域や関係機関の行っている取り組みについて勉強しました。



ハロウィンイベント

環境省

隠れマイマイを探してお菓子（景品）をもらおうという形の遺産センターdeハロウィン2021！子どもから大人まで、たくさんの方が遺産センター式Trick or Treatを楽しんでくれました！



小学1年生マイマイ授業

環境省

11月から12月にかけて計3回のマイマイについての授業を実施してきました!! 実際にマイマイに触れながら学んでいく中で“マイマイが好き!!”という嬉しい反応も見られました!!



アカギ木工教室

環境省

11月13日、14日に母島のアカギ材を利用した木工教室を開催しました。箆や小皿などの手作り体験のほか、竹とんぼ飛ばしなど大人から子どもまで楽しくご参加いただきました。



母島海岸清掃

環境省

10月16日向島、10月17日平島で海岸ゴミの清掃を実施し、延べ510kgのゴミを回収できました。作業に協力頂いた皆様、ありがとうございました。

